

最優秀賞

交通事故をゼロに

福岡市立席田中学校 2年 箕浦 愛華

新一年生でしょうか、新しいランドセルを担いでにこにこした顔で道を歩いています。

でも、横断歩道では、青信号に変わったとたんに、友達と競争しながら元気よく交差点を飛びだしていきました。

私が、「ちゃんと右左を見て！安全を確かめて！」と、注意する間もありませんでした。もし、信号を守らない自動車が走ってきたら、もし、アクセルとブレーキを間違えた人がいたら、どちらも大変な事故になりますし、実際に同様の事故がテレビなどで報道されています。

元気に走っていた子供たちも、事故の被害者になったかもしれません。

ところで、皆さんは普段の生活で、何か気を付けていることがありますか。私は、最近、テレビで交通事故のニュースが毎日のように報道されていますので、交通事故に遭わないで、毎日楽しく安全に生活を送れるように心掛けています。

でも、交通事故は自分がいくら気を付けていても、相手がうっかりしていたり、交通ルールを守らない無謀な運転をしていたとしたら、巻き込まれてしまいます。

けれども、ルールをきちんと守って通行していれば、交通事故をすごく少なくできると思います。

私は、交通事故を少なくするために、次の三つのことを日頃から心掛けて生活しています。

一つ目は、「道路を横断するときは、横断歩道を渡ること」です。横断歩道まで、ちょっと距離があると、めんどろになって道路を横断してしまう人が多いように思います。めんどろくさくてもルールを守ることが、交通事故をなくす第一歩だと思います。

二つ目は、横断歩道を渡るときは必ず「右、左、右、を見て、安全を確認」して渡るようにしています。私が自動車を見ていても、車を運転している人は、私には気付いていないかも知れません。左右を確認して、車が止まってくれるのを確かめて道路を渡ること大切だと思います。

最後に、「道路を大人数になって広がって歩かないこと」です。車道に近い人は、車が通る度に危険にさらされています。人の身体に鉄で作られた自動車がぶつかるような危険は、自分から避けなければなりません。

交通事故は、怪我をしてから悔やむよりも、怪我をしないように、事故に遭わないことが何より大切です。

元気に横断歩道を走っていった新一年生にも、このことをしっかりと、繰り返し教えてあげて、交通事故に遭わない、楽しい学校生活を送ってもらいたいと強く思っています。